

NEC&D-Wave量子コンピュータチャレンジDays 最優秀賞を獲得

2020年12月8～10日に開催されたNEC, D-Wave Systems Inc. が主催する量子アニーリング人材を養成するためのオンラインイベント「NEC&D-Wave量子コンピュータチャレンジDays」にて、クロスステック開発部の片山 源太郎が最優秀賞を獲得しました。

本イベントにおいて、3日間のプログラムを通して量子コンピュータを使ったプログラミングを体験し、主催者から出された配送問題やスケジューリング問題の課題に取り組み、提出したモデルは、実務でモデルを使う上で、重み付けを扱いやすいように正規化するなどの配慮があった点が評価され、最高の評価点を獲得しました。

片山は今回の成績に関して以下のようにコメントしています。

「量子コンピュータを活用するのは初めての試みだったが、1日目のドリル問題を通して、理解を深めることができた。2日目のチャレンジ問題では、

試行錯誤してさまざまな工夫を施した結果、それなりに良い解を出せたようで安心した。工夫としては、各量子ビットにかかる係数の範囲を一定にしたり、定式化を工夫して量子ビット数を減らしたりするなどを行った。」

ドコモでは、昨今の量子コンピュータ技術の進展をかんがみ、量子コンピュータの活用検討を行っています。量子コンピュータは、既存のコンピュータと異なるアーキテクチャで、これまで現実的な時間で解くことができなかったような問題を解くことが期待されています。NEC&D-Wave量子コンピュータチャレンジDaysもその一環で、それ以外にも広告配信やサプライチェーンの最適化などにおける活用を検討する取組みを行っています。今後、NEC&D-Wave量子コンピュータチャレンジDaysやその他の取組みを通して得た知見を活かして、新たなサービスを創出していきたいと考えています。